

Funehiki High School News vol.71

◆インターハイ県大会結果報告

5月下旬から6月初旬にかけて、県内各地で県高等学校体育大会が行われました。惜しくも上位大会への出場権を得ることはできませんでしたが、皆さんのご声援のおかげで各部各選手とも自分の持てる力を最大限に発揮することができました。県大会の結果は以下のとおりです。(敬称略)

- 陸上競技部 女子やり投げ・下枝由佳(第7位)、男子やり投げ・松本優希(第16位)、男子円盤投げ・佐藤舜大(出場)、男子ハンマー投げ・根本大(出場)
- 剣道部(男子)団体戦1回戦 船引0-5相馬
- ソフトテニス部(女子)団体戦1回戦 船引3-0若松商業、2回戦 船引0-3白河旭個人戦・菊地美帆・宗像穂組 1回戦4-0、2回戦2-4 古谷里奈・添田柚奈組 1回戦4-0、2回戦2-4
- 卓球部 個人戦男子ダブルス・吉田圭吾・太田真組 1回戦2-3、個人戦女子ダブルス・松崎友紀・遠藤未来組 1回戦1-3、個人戦男子シングルス・太田恵成 1回戦0-3、吉田圭吾 1回戦2-3、個人戦女子シングルス・宗像純子 1回戦1-3
- バレーボール部(女子)1回戦 船引0-2福島東

◆片曾根山登山・会津体験学習が行われました

5月24日に1年生が恒例行事の片曾根山登山を行いました。天候にも恵まれ、山頂では美しい景色を眺めながらお弁当を食べたり、仲間たちと楽しいひとときを過ごしたりしてきました。全員けがもなく無事に学校との往復を果たしました。



また、2年生は「総合的な学習の時間」で行っている他地域理解の一環として、会津での体験学習に出掛けました。会津流紋焼の絵付け体験や飯盛山や日新館での歴史学習を通し、会津に対する理解をさらに深めることができました。生徒たちはどの活動にも意欲的に取り組んでいましたが、特に白虎隊の最期の話に真剣に耳を傾ける姿は印象的でした。



◆「デュアル実習」を選択して



2年ビジネスクラス 鈴木健太さん (船引中出身)

私がデュアル実習を選択した理由は、自分にどのような仕事合っているのか、どのような仕事をしてみたいのかを知りたいと思ったからです。私は今、製造と運輸に関わる企業で実習をしています。実習の内容は、重い荷物を運ぶ作業が主です。割れやすい物が多いため、肉体的に変な部分もありますが、実習で力をつけて、効率よく運べるように頑張っていきたいと思っています。実習の中で学んだことは「積極的に行動すること」の大切さです。仕事の内容が分かってきたため、徐々に自分で考えて作業ができるようになってきました。

これからの私の目標は、コミュニケーション能力を身につけることです。私はどちらかというと自分から話すことが苦手なため、普段の学校生活でもきちんとしたあいさつを心がけ、実習先でも分からないことを自分から質問するなど、積極的に行動したいと思っています。社員の方ともいろいろな話題の話をしたりして元気に働きたいと思っています。今後は学校生活とデュアル実習を両立し、実習で学んだことを自分の成長につなげられるよう、体調管理に気をつけながら頑張っていきたいです。

◆同窓会からのお知らせ

本校同窓会の東京支部総会が5月19日(日)に上野のホテル・パークサイドで行われました。東京・埼玉・神奈川・千葉・茨城・群馬・栃木・静岡在住の同窓生が、恩師を交えて久々の再会を果たしました。関東圏にお住まいの同窓生の皆さん、次年度の東京支部総会への参加をお待ちしております。なお、今年度の同窓会総会は下記の通り行われます。同窓生の皆さんの参加を心からお待ちしております。



《25年度同窓会総会開催予定》

- 日時 8月15日(木) 14:00~
 - 会場 ウェディングプラザ丸美(田村市船引町)
- ※同窓会東京支部についての問い合わせは本校事務局までお願いします。住所変更なども本校事務局までご連絡ください。
船引高校同窓会事務局(船引高校内)
〒963-4398 田村市船引町船引字石崎15-3



遊みましょう

Rachel Sherer
レイチェル・シェラーさん
(アメリカ合衆国
オハイオ州出身)

海	を	越	え	て
英	語			
	指	導	助	手
ペ	ン	リ	レ	ー
			No.	1

私は日本に来てから田村市の小学校の運動会に何度か参加する機会がありました。どの運動会でも素晴らしい時間を過ごし、児童が全員参加して力を合わせて取り組んでいる姿がとても印象的でした。私はスポーツが大好きです。小学校の時にサッカーやソフトボールをしました。日本ではそのような運動会に参加したことはありませんでした。

アメリカでは、ほとんどの学校でスポーツ活動は中学校まで始まりません。多くの小学生は、コミュニケーションセンターや教会などによって個別に主催されているスポーツ・リーグに参加します。このことは、違う学校に通う小学生が知り合ったり、3カ月の夏休みを忙しく過ごす良い方法です。中学生は、放課後のスポーツ活動に参加したい時に自分で選択します。スポーツ活動は季節が限られているので、いくつかの違うスポーツ活動やクラブ活動に

参加する生徒もいます。学校が終わるとすぐ家に帰る生徒もいますが、スポーツ活動の他に吹奏楽部やコーラス部に参加することもできます。



日本の運動会に一番近い行事は、「スポーツ・ペップ・ラリー」です。ふつう年2回、春と秋に行われ、一日の授業の最後の時間を使います。この行事の時、保護者は学校に来ません。生徒たちのあるグループ(たいていはチアガール部)がその準備をし

ます。2人3脚や綱引き、バスケットシュートのような競技があり、参加者は事前に選ばれています。各学年から8〜10人の生徒が先生方と一緒に競走します。参加者以外の生徒は競技を見たり、同級生が勝つように応援したりします。

スポーツやクラブ活動の例を通して、日本とアメリカの価値観の違いを見ることが出来ます。アメリカでは個人や個人の選択を評価しますが、日本ではみんなが参加して集団として力を合わせることも重要で、自分を持つている強さや弱さを知る上で素晴らしいものです。実際に、チームワークは社会人として成功するために必要な基本的なものです。また、自分一人であっても、自分が興味のあることを追求することも

大切です。集団を優先することが必要な時もあるでしょう。集団と個人の違いの理解を深め、時と場合によって行動の選択をすることが大切だと思います。

新任英語教諭が表敬訪問
米国から新任英語指導手が着任し、富塚市長を表敬訪問しました。今年度は男性6人と女性5人で、市内の小・中学校で教えます。



▲代表で表敬訪問(写真左から)アダム・ハイディ教諭、富塚市長、オマー・ホーナー四世教諭、ナターシャ・ホーナー教諭、チャド・スコット教諭